

【令和4年度】新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当事業 実施状況及び効果検証シート

| No | 交付対象事業の名称 | 所管課 | 事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象(交付対象者、対象施設等) | 事業 始期 | 事業 終期 | A 総事業費 (実績額) (円) | B | C | D | E | F | 事業経費内訳 | 効果・検証 ①成果(具体的に数値等を記載) ②検証(評価) | 課題等 ①課題 ②今後の方向性 |
|-----|------------------|-------|---|----------|----------|---------------------------|--------------|------------------|------------|-------------|------------|--|---|-----------------------|
| | | | | | | | 国庫補助額 (円) | コロナ交付金充当額 (円) | 起債額 (円) | 一般財源 (円) | その他 (円) | | | |
| 合 計 | | | | | | 270,573,060 | 0 | 206,426,000 | 0 | 42,147,060 | 22,000,000 | | | |
| 1 | 大和町事業安定化補助金 | 商工観光課 | ①新型コロナウイルス感染症の影響により、ある一定以上売上げが下がった事業者の影響度合いを緩和し、事業継続を支援するもの。 ②(国)事業復活支援金の30%相当額 ③(国)事業復活支援金を受けた事業者 | R4.4 | R4.9 | 56,987,000 | 0 | 33,000,000 | 0 | 1,987,000 | 22,000,000 | ・(国)事業復活支援金を受けた事業者に対して、国支給額の30%相当額を補助。 ①中小・個人事業主を中心に300事業者に対して27千円～300千円(平均約190千円)の事業安定化補助金を支給した。 ②直接的・間接的を問わず売上げが減少している事業者がそれぞれの事業継続の運転資金として活用することにより、経済活動全体をサポートし、連鎖的な経営悪化で生じる不況を防いだ。 | ①感染症の影響は少なくなってきたが、燃料や物価高騰等の影響によるコストプッシュ型のインフレにより消費活動が大きく低迷している。 ②経済状況を注視していく。 | |
| 2 | 割増商品券発行事業 | 商工観光課 | ①新型コロナウイルス感染症の流行が長引く中で、町内で使用できる2割増商品券を発行し、消費喚起を図り地域商業の活性化を図るもの。 ②実施団体(くろかわ商工会)への補助(割増分への補助) ③くろかわ商工会 | R4.4 | R5.3 | 5,971,250 | 0 | 5,000,000 | 0 | 971,250 | 0 | ・割増サブロー商品券36,000千円(うち2割増分6,000千円) ①2割増商品券を6,000セット(@500円×12枚)を1セット5千円で販売。発行総額3,600万円のうち2割増分は600万円。 ②町民の注目度が高い。参加96店舗。使用(販売)開始から約3カ月で換金率が70.1%に達するなど、町民の消費喚起と生活支援、町内商工業の経済対策につながった。 | ①今後も継続して実施していく場合は財源確保が課題である。 ②商店街活性化策については単年度の商品券事業に限らず、商工会や事業者の企画・立案等も募りながら、効果的に実行していく。 | |
| 3 | 大和まるごと市テイクアウト事業 | 商工観光課 | ①コロナ禍に苦しむ町内飲食店を支援するために、テイクアウトまつり(年4回開催予定)への助成を行い商業の活性化を図るもの。 ②実施団体(大和まるごと市実行委員会)への補助 ③大和まるごと市実行委員会 | R4.6 | R5.3 | 3,000,000 | 0 | 3,000,000 | 0 | 0 | 0 | ・商店街担い手支援事業補助金(大和まるごと市テイクアウトまつりへの補助) 3,000,000円 ①商店街の活性化と担い手支援を目的に活動している大和まるごと市実行委員会に対して、テイクアウトまつり開催(6～11月、計6回)に係る補助金を交付。前年度に引き続き開催。助成率を3～5割に細かく設定したことで参加19店舗では、まつり当日のテイクアウト商品数を増やし、より多くの消費者が通常価格よりも安価で購入することができ、店舗側は商品のPRをすることができた。 ②コロナ禍にあっても顧客創出やリピーターの獲得などにつながった。 | ①コストプッシュ型のインフレにより消費活動が大きく低迷している。 ②経済状況を注視していく。 | |
| 4 | 地域でがんばる事業者応援補助金 | 商工観光課 | ①商品開発、イメージアップ改修、新規創業等(空き店舗活用)への支援を行い、コロナ禍における地域商業の活性化を図るもの。 ②町内事業者への補助 ③町内事業者 | R4.4 | R5.3 | 3,502,000 | 0 | 2,500,000 | 0 | 1,002,000 | 0 | ・空き店舗活用5件2,302千円、イメージアップ改修3件1,200千円 ①空き店舗活用5件2,302千円、イメージアップ改修3件1,200千円。 ②空き店舗が目立つようになると盛況感が失せ、商店街全体で客足が遠のくこととなるが、当該補助金により空き店舗を無くし(減らし)、既存店舗の改修による店内のイメージアップで地域商業活動の維持につながった。 | ①コストプッシュ型のインフレにより消費活動が大きく低迷している。 ②経済状況を注視していく。 | |
| 5 | 畜産業購入飼料費支援事業 | 農林振興課 | ①飼料価格の高騰対策として補助金を交付し、畜産業の経営を支援するもの。 ②町内畜産業者への補助 ③町内畜産業者 | R4.8 | R5.2 | 4,850,000 | 0 | 4,500,000 | 0 | 350,000 | 0 | ・乳牛: @10千円×108頭=1,080千円 ・肥育牛: @10千円×325頭=3,250千円 ・繁殖牛: @5千円×104頭=520千円 ①町内の畜産業者19名に対して4,850千円を助成(乳牛108頭、肥育牛325頭、繁殖牛104頭)。 ②物価高騰の影響を緩和することにより、畜産業の経営継続に貢献できた。 | ①物価高騰が続いているので、継続支援の場合は財源確保が課題。 ②経済状況を注視していく。 | |
| 6 | 上下水道料金負担軽減生活支援事業 | 上下水道課 | ①長引くコロナ禍と原油価格・物価高騰に直面している町内の事業者および町民の安定した生活を支援するため、水道料金と下水道使用料の基本料金を5カ月間減免するもの。 ②5カ月分の基本料金減免相当額を上水道事業会計・下水道事業会計へ補助 ③大和町水道事業と給水または排水に係る契約を結び、使用している者(官公署を除く) | R4.8 | R5.3 | 130,310,730 | 0 | 109,432,000 | 0 | 20,878,730 | 0 | ・令和4年9月～令和5年1月請求分(令和4年8月～12月使用分)の水道料金および下水道使用料の基本料金減免(5カ月分)。 【水道】68,597,430円(61,058件) 【下水道】61,713,300円(56,446件) ①水道料金と下水道使用料の基本料金を5カ月間減免するため、減免相当額の合計130,311千円を一般会計から支出。(官公署は対象外) ②日々の生活、また事業を営む上で必ず支払うことになる水道料金と下水道使用料については性質上コスト(義務的経費)となるが、その基本料金を減免することにより町民と事業者の負担を軽減し、公平で効果的な物価高騰対策を講じることができた。 | ①物価高騰が続いているが、基本料金減免事業は多額の財源を要するため、再支援等の場合は財源捻出が困難。 ②経済状況を注視していく。 | |
| 7 | 農業経営継続支援事業 | 農林振興課 | ①コロナの影響等で米価が低迷し、原油価格・物価高騰により経営に大きな影響を受けている町内の出荷および販売農家に対し、営農負担の軽減と農業経営の維持・継続を図るため支援金を交付するもの。 ②-(1)【米価下落支援金】水稲:1千円/10a ②-(2)【農業用資材および光熱動力等支援金】全作物:3千円/10a ③生産物を出荷および販売している者 | R4.11 | R5.3 | 65,952,080 | 0 | 48,994,000 | 0 | 16,958,080 | 0 | 450名に支援金を交付。 【米価下落支援金】(面積1,190.4ha)計11,094,020円 【農業用資材および光熱動力等支援金】(面積1,828.6ha)計54,858,060円 ①450名に合計65,952千円の農業経営継続支援金を交付。 ②米価下落、原油価格・物価高騰については農業経営を短期間のうち圧迫し、経営継続の意思を困難にらしめる原因となり得るものがあるが、当該支援金によりその影響を緩和することで短期的な経営のサポートを行い、もって経営継続を支援し、将来起こり得る可能性のあった食料自給率の低下を未然に防いだ。 | ①物価高騰が続いているので、継続して支援する場合は財源確保が課題。 ②経済状況を注視していく。 | |